

ほっとアングル Hot Angle



住吉まつり



7月28日・29日、五色浜や灘町商店街を中心に『住吉まつり』が開催されました。

初日は、まず五色浜プールで「ちびっこ魚つかみどり大会」が行われ、園児や小学生たちが大勢集合。プールには貝やウナギ、タイ、ハマチなどが放流され、合図とともに子どもたちは一斉に飛び込み、魚を捕まえていました。また、夕方からは「伊予おどりパレード」があり、36団体の踊り連が参加。それぞれが工夫を凝らした熱気ある踊りで、会場を大いに盛り上げていました。

2日目の夜には「花火大会」が行われ、大空に多くの大輪の華を咲かせてくれました。

ふたみの夏祭り



8月7日、ふたみシーサイド公園・灘町周辺で『ふたみの夏祭り』が開催されました。

魚のつかみ取りでは、海の中に設置された2つのいけすにタイやタコ、ハマチを放流。

参加者は大物を捕まえようといけすの中を走り回っていました。

また、ほかにも双海音頭の町内パレードや福まき、カラオケ大会、花火大会などが行われ、会場は終日大勢の人たちでにぎわいました。

なかやま夏まつり



7月29日・30日、中山地域商店街を中心に『なかやま夏まつり』が開催されました。

30日夕方には、祭りのメインである「中山音頭おどり」が行われました。15団体が2班に分かれ、サンバのリズムに合わせて軽快に踊りながら町内を一周。最後は中山中学校グラウンドに集まり、2班がそれぞれ踊りを競い合いました。

踊りの後には、約600発の「仕掛け花火」が打ち上げられ、祭りのフィナーレを華やかに飾ってくれました。



花づくり講座

7月27日、さざなみ館で毎年恒例の『花づくり講座』が開講されました。開講に先立って、平成16年度花だんコンクールの表彰が行われ、個人の部で3名、団体の部で3つの団体が表彰されました。

続いて、講師の甘井清久先生による第1回目の講義があり、花づくりの基礎知識やさし木の方法など、わかりやすく説明されました。



科学実験教室

8月11日、『科学実験教室』が市立図書館で開催され、市内の小学生たちが集まりました。

この教室では、静電気をテーマにどの家庭にでもある物を使って体感してもらおうと、ストローを使って静電気を発生させ、風船を動かしたり蛇口から出る水を曲げたりするなどの実験が行われました。



伊予バンビーズが県で表彰

少年女子ソフトボールチームの伊予バンビーズが、7月14日に行われた『青少年の非行問題に取り組む県民大会』で優良青少年団体として県知事表彰を受けました。

今回の受賞は、日ごろの練習の合間を縫って、海岸清掃などのボランティア活動を行い、青少年の健全育成を果たしてきたことが評価されたものです。



伊予市消防団操法大会

7月24日、伊予小学校グラウンドで『伊予市合併記念第1回伊予市消防団操法大会』が開催され、市内10分団、約340人の消防団員が参加しました。

操法大会は、消防団員の迅速かつ的確な消防技術を競い合うもので、消防自動車を使った「ポンプ車操法」と小型動力ポンプを使った「小型ポンプ操法」が行われ、両種目とも第1分団(大平地区)が優勝しました。



伊予市民大学

8月6日、オスマン・サンコンさんを講師に招き、『伊予市民大学』が開催されました。

「視力6.0が見た日本」と題して行われた講演では、来日当初、故郷のギニアと日本との文化の違いに戸惑ったことや、日本語を覚える際の失敗談などをユーモアを交えて語ってくれました。また、「文明国家になるほど自然との関わりが疎遠になり、人間はひとりでは生きていけない。」と自然との共存の大切さを訴えていました。



ひまわり祭り

8月13日、上吾川で『ひまわり祭り』が開催されました。休耕田一面に植えられた約5,000本のひまわりは、循環型社会の推進のため、6月上旬に伊予農業高校、郡中小学校、地元の老人会や婦人会が植えたものです。

このひまわりは8月下旬に収穫され、ひまわりの種にある油をバイオディーゼル燃料に精製します。